

# 六葉会会報

vol.11



関東学院六浦中学・高等学校同窓会

# 目次

---

会長挨拶 会長 田野井 一雄 .....	1
学校の近況 校長 永野 肇 .....	2
安曇野通信 曲淵 憲介 .....	4
六葉会の活動 .....	6
OBクラブ紹介 スキー部 腰塚 誉之 .....	8
学校に行こう「六浦祭」11/3・4 開催 .....	9
OB訪問 学食営業中 牧野 茂治 .....	10
街角スナップ .....	11
1998年度決算報告書 .....	12
1999年度予算書 .....	13
クラス会レポート 還暦記念同期会(4回生) .....	14
クラス会レポート 三十三回五組 クラス会 .....	15
卒業生の便り 斉藤 洋・治子 .....	16
名簿の販売について .....	17
維持会費のご協力のお願い .....	17
2000年度中学生徒募集 .....	18
土曜講座 .....	19
キャンプNHK取材 .....	20
訃報 .....	24
クラス会に助成金 .....	24
募集コーナー .....	24
編集後記 .....	24

# 会長挨拶

## 母校よ永遠（とわ）に

我が母校、関東学院六浦高校も本年第四十七回、百九十八名の卒業生を六葉会に迎え入れ、その数も九千九百五十二名に達し、益々充実発展を遂げていることは卒業生の一員として、大きな喜びです。

さて、今日は二十一世紀を直前にし、金属疲労をおこした飛行機のように、大空を迷走しているかのようにです。

不透明な経済状況、少子高齢社会、情報化、国際化そして増え続ける高齢者を社会全体で負担する新たな介護保険制度がいよいよ平成十二年四月よりスタート致します。「物の豊かさから心の豊かさへ」と叫ばれて久しいわけですが、社会の様々な分野で問題点が露呈し、又犯罪も益々凶悪化、低年齢化し、安心して日常生活を送ることすら、危惧される状況です。このような時代背景にあつて、直前に迫った二十一世紀を支える重要なポイントは少子化そして教育の問題ではないでしょうか。



会長

田野井 一雄

(第7回卒)

# 学校の近況



校長

永野 肇

関東学院の動向

1884（明治17）年、横浜バプテス  
ト神学校設立から今年で115年になり  
ます。10月6日、関東学院創立記念日に  
あたり、大学礼拝堂で祈禱会が、大学ベ  
ネットホールで記念式が執り行われまし  
た。

また、今年（1919（大正8）年、中  
学関東学院の設立から80年になります。  
11月6日、三春台で記念祈禱会並びに記  
念式が行われます。

バプテスト神学校初代校長 A.A. ベネッ  
ト先生の外人墓地の墓碑には「彼は仕え  
るために生きた」と記されています。そ  
の精神を引き継ぎ、中学関東学院が設立  
され、初代院長坂田祐先生によって「人  
になれ 奉仕せよ」の校訓が示されまし  
た。現在関東学院には、園児から大学院  
生まで約18,000人が学んでおりま  
す。

六浦中高の現況

六浦中高は1953（昭28）年3月14  
日、三春台から分離独立して46年の歴史  
を歩んできました。今年の3月、第47回  
の卒業生を送り出しその数は約1万人に  
なります。時代の変化と共に、六浦中高  
も様々な改革を試みております。

今年度から完全週五日制の実施、17回  
生から行っていた高校入試を廃止し、完  
全な中高六年一貫になりました。生徒の  
人数は各学年およそ200名、5クラス  
で1200名余になります。教職員数は、  
専任教員60名、非常勤講師27名、カウ  
ンセラー2名、専任職員5名、嘱託職員4  
名です。

主な校外教育活動の動き

中学3年生が、昨年（から奈良、京都を  
中心に日本の歴史と文化を学ぶ研修旅行  
に、高校2年生が今年まで北海道道南を  
中心に修学旅行を行ってまいりましたが、  
来年からは長崎、天草を中心とした平和  
学習とキリシタンの歴史などを取り入れ  
た研修旅行に変わります。また、今年初  
めて高校1年生の一泊研修が三浦ケーブ  
シャトーで行われました。メインのプロ  
グラムである講演、パネルディスカッシ  
ョンはすべて卒業生にお願いしました。  
講演は20回生の長谷川エスター・聖美さん  
（葉山の養護施設・幸保園園長）、現在の  
仕事を通して、示唆の富んだ講演をして  
いただきました。パネルディスカッシ  
ョンは14回生の西岡義榮さん、23回生の三  
浦由希子さん、41回生の行木教雄さん以  
上3名の方をお願いしました。学生時代

のこと、現在のこと、そして生徒への助言などそれぞれの話に生徒も熱心に耳を傾け大変好評でした。来年で降も多少形態は変わるかもしれませんがぜひ継続したいと考えております。在校生のために積極的にご協力をお願いいたします。

その他自由参加のプログラムとして行われている日光千手が浜キャンブも35回目を実施しました。年々参加者が減少し、中止を考えたことも度々ありましたが、プログラムなど様々な工夫を加え、その伝統を絶やすことなく続けています。今年度は、特集記事にもありますように、NHKへの生出演という特別な企画もあり、参加した生徒にとってはいい思い出になったことと思います。

また、40年以上続いてきたスキー学校も、蒸温泉スキー場での実施は今年で最後になります。来年度からは蔵王温泉スキー場にその場所が移る予定です。

新しい試みとしての土曜講座

完全週五日制に伴い、土曜日に補講やクラブ活動の他に、「土曜講座」を開設しています。日頃の授業やクラブ活動と違った学びであり、体験の場です。講座としては、コンピュータ入門、コンピュータグラフィック、中国語（北京語）、

イタリア語、英会話、手話入門、フラワールランジメント、ポラントニア、パイオルガン、写真撮影入門講座の10講座です。この講座の大きな特徴として、生徒の受講はもちろん、保護者、教職員も受講していることです。受講者数も当初の予想をはるかに超えて、その対応に苦慮するほどでした。今後は、保護者以外に卒業生、地域の方々も参加できるように体制作りをしていきたいと考えております。特に卒業生の方には、講師としても参加していただきたいと思えます。

六浦中高が目指す教育と

2000年度入試

今、教育界全体が様々な課題を抱え、新たな教育を目指して模索しています。本校に於いても、少子化そしてこの経済状況の不安定な中でいかに、私学としての特色を持った教育を行うか真剣に取り組んでいます。その基本は最初にも述べましたように、創立以来、「人になれ奉仕せよ」の校訓のもとに一貫して説き続けてきた教育理念は、時代がどのようになっても不変です。礼拝を守り、聖書の教えを土台として、隣り人のことを考えられる人間としての成長を願っています。

「中学生・高校生という感受性の強い世代にとって、一年一年がとても大きな意味を持ちます。本校の六年一貫教育は、その6年間で豊かな知性を磨き、また個性ある人格形成の期間であると位置付けます。学習面はもちろんのこと、精神的な面も含め、教育の意義を深めようと考えています。

また、中学・高校にまたがる教員スタッフの充実が、広い視野で生徒の個性を捉え、人間性の理解を深め、学習意欲を高める働きをしています。」(学校案内より抜粋)

2000年度中学入試要項は別掲されており、卒業生のお子様方が一人でも多く本校の中学校を受験されることを願っております。入試に関するご質問等遠慮なくお問い合わせ下さい。

最後に、悲しいお知らせになりますが、かつて本校に勤務されておりましたお二人の先生がご逝去されました。

2月16日 泉 健也先生(英語科)

3月5日 吉田祐暉彦先生(国語科)

お二人ともすばらしいキャラクターの持ち主で、今でも授業の一場面が脳裏に浮かんできます。個人的にも大変深い交わりをさせていただきました。心から哀悼の意を表したいと思います。

# 安曇野通信

曲瀨 憲介

安曇野にやって来た猫、それはニヤン太郎です。比較的最近の卒業生の皆さんには、授業の中でしばしば教材?として登場させたのでお憶えかと思えます。大病を患って大手術を受け九死に一生を得たこと、ノミにとり付かれ家中ノミだらけになった話など……。そのニヤン太郎が六月下旬腰を抜かしました。

ベランダに面した窓辺で昼寝をむさぼっていたニヤン太郎が突然跳び上がり、後ろ足を引きずり頭を下げ、前足だけでよたよたと逃げ出した。何事があったのかとベランダを見ると、何とニメートルにならんとするアオダイショウが体をくねらせているではありませんか。私もびっくり

しましたが、ニヤン太郎はよほど驚いたと見えます。その後も脅えた様子は治まらず窓辺に近づくと時は、カーテンの蔭などを不安そうに調べ、ちよつとした物音にも驚き背を丸くして二十センチほど跳び上がる、その様子は何とも滑稽でもあり、哀れでもあります。昼寝をしていても突然唸ったり、跳び上がった私の方がびっくりすることがよくあります。

そして二年前、横浜から安曇野にやってきた猫チビ太がいます。臆病で雷嫌い、そしてひとみしりが激しく、玄関のチャイムが鳴っただけで秘密の隠れ家に姿を隠し、お客様が帰るまで姿を現わしません。気は優

しく本気でかんたりひっかかりたりすることはなく、夜はガラスの外に集まってくるアマガエル、カブトムシ、クワガタムシ、ガ等に跳び付き踊り狂っています。

そんな二匹の猫達は共に十才になりますが、時折生まれ故郷の横須賀や横浜が恋しいのか、前に広がる安曇野の風景を楽しんでいるのか、ぼんやりと外を眺めていることがあります。移住したことが二匹にとって幸せだったのでしょうか。

当地では、家から見える大天井岳



ニヤン太郎(右)とチビ太



絹をまとった有明山

(2921m) など北アルプスの山々に体して有明山(2268m)、浅川山(1742m)、富士尾山(1296m)等を前山と言っています。今年の春から初夏にかけて浅川山のトレッキングを数回にわたり試みました。神奈川県の最高峰丹沢山塊より高い山を家から五時間足らずで往復できるので嬉しくなります。シラカンバ、ダケカンバ等の混じる林のトレッキングで、ルリビタキ、メボソムシクイ、コマドリ、ミソサザイ、オオルリ、ツツドリ、ウグイス等が観察でき、路傍にはマ

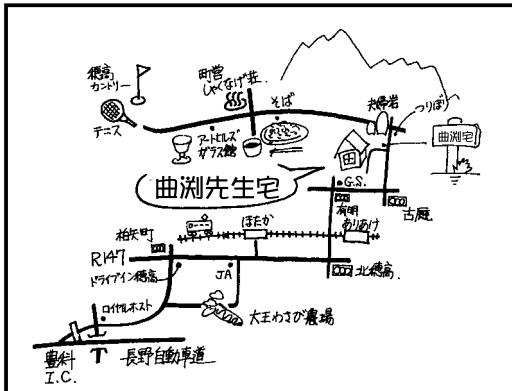


有明山(中央)と水鳥達(犀川湧水池にて)

イズルソウ、ユキザサ、タマガワホトトギス、エンレイソウ、サンカヨウ、ザゼンソウ等が見られます。獣では、ニホンザル、ニホンカモシカ、ノウサギなどに会えます。歩くコースはハイキング路ではなく送電線の巡視路で、後から分かったのですがツキノワグマも多い所だそうですびっくりしました。そういえば最近の新聞にクマ出没とありました。何とか大天井岳、有明山にも登ってみようかと計画をたてますが実現

### 曲淵先生アクセス

中央高速「長野自動車道豊科」C  
降りてR147利用すぐ  
長野県南安曇郡穂高町有明7364 13  
TEL 0263 83 29268



していません。今後の楽しみに残してあります。  
皆様のご健勝とご活躍をお祈りします。  
(1999・9・7記)





## 各委員会の紹介

### 特別企画委員会

六葉会と母校の発展のために企画・運営の計画を立案し、貴重な働きをしています。

### 会報委員会

会報の発行により、卒業生の情報交換、学校の現状等についてホットなニュースを提供しています。

### つどい実行委員会

「卒業生の集い」の企画・運営。卒業生のふれあいの場。年令の差を越えての楽しい集いが行われています。

### 名簿委員会

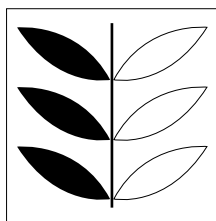
5年に一度名簿を発行。卒業生にとって大切な情報源。正確な名簿

作成のため努力しています。

### 会員交流委員会

会員相互の交流を促進し、理解を深めることによって、同窓会の活力を生み出します。

## 六葉会のシンボルマークについて



「山上の垂訓」の1節にある「平和（マタイ5章8節）を概欖で表し、図案の6枚の葉はオリーブの葉で6年間の歩み及び六浦を表しています。

1組	内野 恵大・諸星 涼子
2組	千田 史生・野本 幸靖
3組	北村 善紀・腰塚 誉之

4組	小泉美也子・長島広典
5組	下山すなほ・陳 寛明

- 1b 上記の方々が学年幹事となられましたのでご連絡事項等よろしくお願い致します。  
1c 転居されますと、会報等の郵便物が届かなくなります。住所変更は六浦中高事務局781 2525までお知らせ願います。FAX 781 2527

47  
回 卒業生六葉会幹事

関東学院六浦高校

# O B クラブ紹介

「スキー部って夏とか何やってんの？」私がスキー部について質問をうけたなかでこれが一番多かった。家族の者、友人は当然として、さらに先生からもこのような質問をうけて私はガクと来た事が幾度があった。夏に活動するスキー部は周りの目から見れば特異な8907ものにつつまである。しかし、スキー部にとって夏という季節は冬を素晴らしいものにする為にとても重要なのだ。スキー部は冬と春に合宿を行う。そして、冬合宿の直後に中学・高校共に神奈川県大会が開催され、部員の殆どが参加する。この神奈川県大会で優秀な成績を収める事ができ

## スキー部

腰塚誉之(第47回卒)



はもう一つ上の大会に駒を進める事ができる。まあこれはどこの部活でも同様であろう。しかしスキー部の大きな大会は年に一回である。

ると言っても等しい。もちろん高校生だけの大会や草レースなどは開催されるが、スキー部の部員はこの一回の大会の為に活動しているのだと言っても過言ではなからう。

つまりこの大会の一本ないし二本の滑走、時間にしてわずか一分前後で自分の一年間の活動の結果が数字で現れてしまう。その数字を見て狂喜する者もいれば、その数字を見る前から「ゴールを切る前から」泣きじゃくる者もいる。オフシーズンにしっかりとした活動をしたかしないかの差であろう。11月中旬の頃からチョコチョコとトレーニングをしただけの者はと

てもじやないけれどもいい成績は残せない。また、スキー競技は一つのミスで全てがくずれてしまう。そのミスをしなない為の集中力と精神力は夏季の暑い中で厳しいトレーニングの中でやしなわれていくものであると思う。オフシーズンにコツコツとじみちな活動をした者が冬に素晴らしい花を咲かせる事になるのだ。私は、スキー部の顧問の先生が言った言葉がとても印象に残っている。「君達は冬に咲く花なんだよ。」まさにその通りだと思う。今のスキー部は昔ほどの活気は見られないと、あるOBは言うが、今の部員達が冬に素晴らしい花を咲かせる事ができれば、昔以上の活気がスキー部にでてくるものだと私は思う。



## 学校へ行こう 「六浦祭」11/3・4開催



11月3日4日の2日間六浦祭が開催されます。卒業生の部屋として六浦会の部屋を今年も設けます。門を入れて正面にある新校舎の2階です。卒業アルバムを全学年そろえて展示しています。現役の学生にも先生の学生時代の写真がみることができるとあって毎年好評です。是非、足をお運びください。

OB  
訪問

今日も元気に

## 学食営業中

第18回卒 牧野茂治さん



学食で学年会を開く期があると聞きましたが・・・幹事の卒業生から「おじさん頼むよ安くやってよ」「なんていうことを頼まれるのは毎年だね。学校でやるのとくさん集まるし毎年違う顔ぶれになるから幹事も楽しいみたいだよ。

18回生はいつもここでやるんだけど、同期にバンドやってる奴らがいてステージをつくって演奏してもらったよ。テーブルなんてかたづけちゃってさ。おおきな音を出して騒いでも周りに迷惑かけないか

らみんなで踊ったりして、自由に思う存分できるんだよね。

学食の仕事をしていて楽しいことは？

学食の仕事をしていると子供達がいるんなことを話していくんだよね。先生には言えない事も、学食のおじさんには話してく・・・子供達はかわいいよね。

卒業してからも関東って男女が仲いいから、あいつとあいつが結婚したなんて話もよく聞くし、その子供が関東の小学校に通っていて帰りに親子でここに寄ったりしてくれるんだよね。そんな時が楽しい事かな・・・。

**学食で学年会を開こう!!!**

3500円(飲物込み)から。10名でもOK。土日  
も可能です。学校の予定と調整が必要なの  
で申込は森事務長まで

TEL 045-1781-12525

思い出  
の  
街角スナップ

昭和29年頃の  
金沢文庫駅前



駅舎の見える金沢文庫駅東口。正月のアーチのかかった駅入口付近である。道路は一部未舗装のままで雨がふるとよくぬかるんだ。昭和29年の正月の様子。



現在の京急金沢文庫駅東口。左手に駅に上る階段がある。



## 六葉会1999年度 予算案

### 収入の部

科 目	1998年度予算	1999年度予算	増 減	備 考
47 回生会費	2,584,800	2,541,600	43,200	199名卒業予定
48 回生入金	396,000	398,000	2,000	
法人預け金繰入	2,881,600	2,944,600	63,000	
推持会費	1,000,000	1,000,000	0	
卒業生の集い会費	100,000	100,000	0	
名簿販売代金	100,000	10,000	90,000	
名簿広告代金	30,000	30,000	0	
受取利息	25,000	20,000	5,000	
繰越金	60,256	- 346,390	406,646	
合 計	7,177,656	6,697,810	479,846	

### 支出の部

科 目	1998年度予算	1999年度予算	増 減	備 考
運 営 費	300,000	300,000	0	
会 議 費			0	
事 務 費			0	
印 刷 費	150,000	150,000	0	
通 信 費	100,000	100,000	0	
消 耗 品 費	20,000	10,000	10,000	
交 際 費			0	
慶 弔 費	100,000	100,000	0	
援 助 費	150,000	150,000	0	
合同同窓会分担金	61,200	59,400	1,800	
雑 費	10,000	10,000	0	
事 業 費			0	
会 報 印 刷 費	1,300,000	1,300,000	0	
会 報 発 送 費	810,000	810,000	0	
名 簿 発 送 費	13,600	1,360	12,240	
行 事 費	200,000	200,000	0	
生 徒 会 援 助 金	100,000	100,000	0	
積 立 金 繰 入			0	
一 般 積 立 金	150,000	50,000	100,000	
行 事 積 立 金	150,000	50,000	100,000	
名 簿 積 立 金	600,000	300,000	300,000	
在 校 生 会 費 預 り 金	2,881,600	2,944,600	63,000	
予 備 費	81,256	62,450	18,806	
合 計	7,177,656	6,697,810	479,846	

# ○クラス会レポート

## 還暦記念同期会（4回生）

今回、還暦記念と題して4回生の同期会を、卒業以来初めての1泊旅行として湯河原温泉（私学共済組合「敷島館」）で開催しました。（平成10年10月17日）参加された仲間、恩師2組担任の伊藤清先生と男性9名、女性10名でした。男性がやや人数が少ない感がありましたが、宴会それに続く部屋での2次会さらに女性の強い希望もあり近くのスナックでの3次会と、宿泊しなければできない凄く盛り上がった会でした。

特に女性軍の盛り上がりは素晴らしく、男性軍もたじろじでした。

やはり女性は強いのでしょうか、歳をとると痛切に感じますね。男性軍から『今後女性主導で会の運営を』との声もたほどでした。なお、女性軍から次回もぜひ宿泊での同期会を強く希望がだされました。

卒業後、頭髪以外に変貌した仲間、なんといつても伊藤寿信君の変貌でしょう。とにかくカーボリースタイルが実に堂に入っていて欠席の方にぜひお見せしたかったです。又カメラマンとしても奮闘され会を盛り上げてくれました。

前期の伊藤寿信君、山口哲君、

幹事の私（白岩達雄）や大須賀昭博君のように全体に営業関係を経験された者の変貌が顕著でした。なお、女性軍は皆様お若く、とても還暦を過ぎた年齢には見えませんでした。

また、一番変わらない方はなんといつても当時2組担任の伊藤清先生（愛称ずーさん）であること





は、集合写真でお判りのとおりです。

翌日は、折からの季節はずれの台風で朝のうちの大雨でゴルフ組はキャンセル、男性軍は早々と帰宅しましたが、女性軍は伊豆方面にドライブにでかけ結構楽しんだようでした。

幹事も一緒にすればと後悔しています。(山口哲君は女性軍のドライバートして同行)。

現代では還暦といってもまだ若く、第2の人生の出発点です。これからも同期会を通じてお互いの親睦と若さを保って行きたいと思っております。

次回同期会はさらに多くの仲間とのふれあいを楽しみにしています。

(4 回生幹事代表 白石達雄)



## 三十三回五組 クラス会

7月10日に横浜でクラス会を開催しました。このところ毎年集まって担当の島田先生と、学年主任の国近先生を囲んで楽しいひとときをもっています。今年は島田先生が欠席ということであちよつと淋しい会となつてしまいました。来年に期待したいと思つていきます。今年、久しぶりに参加した寺田君に話題が集中しました。それぞれの道に進んだ友達の話を開けるのもクラス会のいいところだと思ひました。クラス会へ六葉会から助成金が出るということで申請したところ、五千円助成してもらえて大変助かりました。

## 卒業生のたより

私達夫婦は先輩と後輩として関東六浦（主人は小・中・高・大、私は中・高・短大）で過ごし共通の思い出がたくさんあります。

中学・高校時代は、インターアクトクラブに所属し、国津先生のもと奉仕活動をしたのが今でも私達の話題にのぼります。

今では、福祉と言えばポピュラーですが、その当時（20年程前）では、まだまだ世間に浸透していなかったように思われます。地味な活動でしたが、クラブ員は20人程いたように記憶しています。

他校との交換会も楽しみの1つでした。それに私達夫婦は高校の時（主人は高1の時、私は高2の時）に台湾研修にも参加しました。

このクラブ活動を通して知り合った友達とは今でも交流があります。（もちろん私達はこれが縁でその後結婚したのですが...）

今は、主人の転勤でアメリカのサンフランシスコに住んでいます。偶然にも私達のファミリードクターも他高のインターアクトクラブの出身で、同級生ということもあり家族ぐるみでおつき合いをしています。

私達はよくおしゃべりをします。1学年しか離れていないので“ ちゃんが ”と言ってもすぐに解かってくれますし、アルバムなど見始めるとお互い過去のばらし合いになり大笑いする事もしばしばです。

楽しい思い出が詰まった“ 関東六浦 ”は私達にとってかけがえのない場所です。

今度、一時帰国した時には、2人の娘を連れ遊びに行きたいと思います。

斉藤 洋 （30回生3組落越先生）  
治子 （旧姓若島）(31回生)

411Port Royal Ave, Foster City CA  
94404 U.S.A  
650 - 574 - 3126



# 名

# 簿

## (1996年度版)の販売について

1996年度版の卒業生名簿ご希望の方は関東学院六浦中高までご連絡ください。卒業生名簿を郵送いたします。名簿到着後、同封の振替用紙にて¥2,500(手数料別)をお振込みください。

最近名簿広告業者が六葉会の名称を使って、広告を強要したり、名簿を販売する事件が発生しております。当会とは無関係ですのでご注意ください。

お問い合わせ先 045 781 2525 中田まで

### 維持会費のご協力をお願い

1999年度の維持会費の納入をお願いしております。六葉会の運営に是非ともご協力下さい。納入は同封の郵便振込用紙をご利用の上4,000円(手数料別)お振込下さい。よろしく願い申し上げます。



2000年度（平成12年度）  
**中学校生徒募集要項**

	【1次】		【2次】
	A日程	B日程	
募集人員	60名(男・女)	40名(男・女)	30名(男・女)
	いずれも本学院六浦小学校からの進学者を含みません。		
出願資格	2000年3月 小学校卒業見込みの者		
出願期間	1月11日(火)～1月14日(金) 9:00～15:00		1月11日(火)～1月14日(金) 9:00～15:00 2月1日(火) 15:00～18:00 2月2日(水)・3日(木) 9:00～15:00 2月4日(金) 9:00～11:00
出願書類	△入学志願票・受験票(本校指定) ㊦志願者カード(本校指定) ㊧在学小学校6年生の成績通知表のコピー(B4サイズ)		
入学検定料	20,000円(銀行振込)	20,000円(銀行振込)	20,000円(銀行振込)*
	ただし、1月11日(火)～1月14日(金)の出願期間に、2種類または3種類の試験を同時に出願する場合は 2種類出願する場合検定料の合計を30,000円 3種類出願する場合検定料の合計を40,000円とします。		
入学試験日	2月1日(火) 8:15集合	2月2日(水) 14:20集合	2月5日(土) 8:15集合
試験科目	国語・社会・理科・算数	国語・算数	国語・算数
合格発表	2月1日(火)17:30	2月2日(水)20:00	2月5日(土)15:00

\*ただし、2次の2月1日～4日は本校窓口でも受け付けます。

入試説明会 11月27日(土) 13:30～ 本校礼拝



道 順

1. 京浜急行「金沢八景駅」下車(特急・急行停車駅)
1. 金沢八景駅から  
(徒歩の場合)  
地図の矢印の道順で歩いて約15分。  
(バス利用の場合)  
国道16号に出て、バス停「金沢八景」より乗車
1. 京浜急行バス「追浜日産自動車行」市営バス「追浜行」のときは、「内川橋」下車、徒歩5分。
1. 京浜急行バス「関東学院循環」のときは「関東学院大学」下車。

# 土曜講座

年齢の枠を越えて、  
ともに学んでいます。

本校では、完全週五日制実施に伴い、土曜日に補講やクラブ活動の他に「土曜講座」を開設しています。「土曜講座」とは、日頃の授業やクラブ活動とは一味違った学びであり、体験の場です。ものの見方・考え方や趣味が広がるような講座、生活にうるおいや豊かさを与えてくれるような講座など、多方面の講座を開設しました。講師や指導者は多方面で活躍されている方々や本校の教員です。

この講座の大きな特徴は、生徒が受講しているのはもちろん、多くの保護者と教職員が受講していることです。生徒と同じ教室での学びはお互いにとって貴重な体験です。生涯学習という



面から見ると、この「土曜講座」は将来へ向けて大切な試みであると考えます。更に今後は地域に開かれた学校を目指し、本校の関係者のみならず、地域の方々も参加できる講座へと発展させていきたいと思えます。



	講座名	講座数	受講者数
1	コンピュータ(入門編)	6	135
2	中国語(北京語)	1	45
3	イタリア語	1	23
4	英会話	2	45
5	手話入門	1	23
6	フラワーアレンジメント	1	30
7	コンピュータグラフィック	3	109
8	ボランティア	1	8
9	パイプオルガン	4	27
10	写真撮影入門・写真講座	1	13

1999年度

# キャンプ NHK取材



## 99年度キャンプ報告書

44回卒 吉田朋央

今年も関六の夏の恒例行事であります。日光中禅寺湖畔千手ヶ浜でのキャンプが7月23日（金曜日）～26日（月曜日）までの4日間開催されました。このキャンプ、今年で35回開催されており数多くの生徒たちが参加しています。この会報をご覧になられている多くの方も、このキャンプの思い出がおりのことだと思えます。

さて、今回のキャンプは過去35年間にはなかった素晴らしい催し物が開催されました。それは、NHKハイビジョン番組の生放送というものです。番組の内容は、日光の大自然の紹介と、関六生とオカリナ奏者の宗次郎さんとのオカリナを通してふれあい、森の魅力を写すという内

容でした。簡単に言えば、宗次郎さんに生徒たちがオカリナを習い、そのオカリナを通して森の素晴らしいさを視聴者に伝えるというものです。

私たちがキャンプ場に到着して、約1時間ほどしてNHKのスタッフの方々が到着されました。このキャンプ場は、自然保護のため自家用車などの乗り入れは原則的に禁止されているのですが、なんとNHKのスタッフの方々は機材を運搬したりするためにトラック10数台で到着されました。「さすが国营放送だな。」と、引率された先生方と感心してしまいました。

さて、この生放送は午後9時からの放送で『NHK週間ハイビジョンニュース』という番組の特別版として放送されたのですが、リハーサルはその1時間前の午後8時から始まりました。まずは、出



演者のみなさんと顔合わせをし挨拶をしてスタッフの方からこれからのリハーサルと番組の段取りについて説明を受けました。

スタッフの方からの説明が終わると、いよいよオカリナ奏者の宗次郎さんが生徒たちの前に現れました。生徒たちは、その登場に少々の緊張をしていたようでした。宗次郎さんの気さくな挨拶でそ

の緊張もほぐれたようでした。また、宗次郎さんの素朴なそのしゃべり方にも安心を覚えることが出来ました。早速、生徒全員にオカリナが配られ本番前にみんなで猛練習しました。

そんな中、もう1人のゲストである尾崎紀世彦さんはキャンプ場の管理棟で自作のピーフシチューを作られていました。私たちの考えでは、まさかご本人自身が作られるとは思ってもしなかった。とてもビックリしてしまいました。かなりの腕前で、手際良くほとんど調理していました。

そんなこんなをしている間に、本番5分前になってしまいました。全員中継の行われる広場に集合して、最後打ち合わせに入りました。その横で、キャンプ場の方々が番組用のキャンプファイヤーに火を入れていました。その火は勢い良



く燃えてしまい、本番直前まで火の調整に大変な様子でした。

いよいよ午後9時、生放送がスタートしました。まずは、司会者の方の挨拶に続きセットのテントの中から尾崎さんが登場しました。そこで少しお話があった後、いよいよこちらの方にカメラが回ってきました。司会者の方に紹介された後に今回のキャンプから野営

長に就任された松田先生のインタビュールが始まりました。インタビュールの内容は、「なぜ、35年間にこのキャンプ場でキャンプを開いているのですか?」と、言うものでした。本番前、事前に質問の内容が知らされていきましたのでどのように答えようかと松田先生は気がきではなく、湖の周りを行ったり来たりしながら、とても緊張している様子でした。しかし、本番が始まってしまうと、まるで全く緊張していかないかのようにすらすらとインタビュールに答えていきました。あまりに調子良く答えてしまった、スタッフの方から「早く切り上げるように。」と、いうサインが出されるぐらいでした。

この様なやり取りの後、今度は宗次郎さんがオカリナを演奏しながら登場されました。いよいよ生徒たちにカメラが向けられる番で



す。皆一様に緊張している様子で、本番前とはやはりだいぶ様子が変わっていました。また、生徒たちの中にはレポーターの女性も混じっており、生徒たちと一緒にオカリナのレッスンを受けるという設定になっていました。

番組の中では、生徒たちは番組中にオカリナを練習して最後に演奏するという設定だったのですが、本番前から宗次郎さんにレッスンを受けているのでなかなか上手に吹くことが出来ていました。最後に4人の生徒が選ばれて、その4人が宗次郎さんと一緒に演奏するという事なのですが、これもまた事前に打ち合わせ済みで演奏が上手く出来る生徒を前もって選んでおいてその子たちはより熱心にレッスンを本番前に受けていました。

テレビに宗次郎さんと生徒たちとのオカリナのレッスン風景が映



されている頃、尾崎さんはビーフシチューの最後の仕上げにかかっています。最後まで自らの手で仕上げるとは、最後の最後まで感心させられました。

番組も最後の方にさしかかり、宗次郎さんと4人の生徒たちとの共演の時間になりました。熱心に宗次郎さんにご指導して頂いて、この共演はとても上手に出来ました。

この後、番組のエンディングの方で尾崎さんが自ら手がけたビーフシチューが出演者の方全員に振る舞われました。もちろん生徒たちにもです。夕食がちょっと早かったためか、生徒たちは大変喜んで頂いていました。

そして、番組の最後は宗次郎さんの素晴らしい演奏で終了しました。番組が終了しても、宗次郎さんはまだ演奏を続けて下さって、

とても素晴らしい時間でした。生徒も先生たちも、その演奏に興じていました。

全ての事が終了し、時間が午後10時をだいぶ過ぎて生徒たちは消灯しました。消灯後、NHKのスタッフの方が先生達のところに来て、尾崎さんの作ったシチューが余ってしまったのでいかがでしょうかと、わざわざシチューをもってきてくれました。先生方は、このシチューを頂いていなかったのですが、先生方も夕食が早かったので早速頂くことにしました。そこに私たち取材班も混ぜて頂いたのですが、このシチューの味は……にんじんがいっぱい入っていて……うん、って感じの味でした。

この体験は、生徒たちにとってもよい経験をさせたと思います。普段は聴く機会の少ないオカリナという楽器を通して、また違った角

度から大自然というものを感知することが出来たと思います。このような体験は普段では決して体験することは出来ないことで、大自然を全身で感じられたのではないのでしょうか。今回経験したことを、今度は普段の生活にどんどん生かして行って欲しいものだと思います。

ちなみに、番組で使用したオカリナは全て生徒たちにプレゼントされました。1つ¥3,000ぐらいの品だそうです。ちょっと、うらやましかったです。



## クラス会に

# 助成金

六葉会から、同期会やクラス会に助成金が出ることをご存じでしょうか。幹事になられた方は、是非一報ください。学校または学年幹事に連絡いただくと学年会には10,000円、クラス会には5,000円の通信補助がうけられます。どしどしご利用ください。

連絡先 関東学院六浦中学・高等学校  
045-781-2525 中田まで

## 訃報

お悔やみ申し上げます

(会報委員会調査分)

先生 泉 健也 先生  
吉田 金一 先生  
平成11年2月  
" 11年3月

同窓

大須 賀亨 雄	4 回生 3 組	平成11年1月
竹内 経久	8 回生 4 組	平成11年7月
山下 豊洋	8 回生 4 組	平成11年1月
中山 洋一	10 回生 2 組	平成10年9月
根島 喜男	10 回生 2 組	平成10年8月
井上 彰男	16 回生 1 組	平成10年10月
大場 正一	16 回生 4 組	
村上 啓守	21 回生 1 組	

## 募

## 集

## コ

## ー

## ナ

## ー

来年度の六葉会会報の記事、投稿、想いのスナップを募集しています。クラス会の報告や現役当時のお話などお待ちしております。

連絡先

0468 22 7772

住まいるショップ 長浜まで

## 編集後記

今年もなんとかできありがとうございました。原稿等ご協力いただきありがとうございます。(長浜)

この会報の作成に携わっていただいた方々に感謝しております。会報の読者が増えることを願っています。(高石)

楽しみながらやらせてもらいました。来年も是非会報委員をやりたいと思います。(吉田)



# Le concert d'hiver

パイプオルガンコンサート  
12月4日(土)PM3:00 ~ 礼拝堂にて

出演者 プロフィール

● 村上 葉子  
(オルガン)

東京都出身。東京都立芸術高等学校、東京芸術大学卒業。同大学院修士課程修了。オルガンを小林英之、廣野嗣雄、鈴木雅明の各氏に師事。これまでに水戸芸術館、府中の森芸術劇場、神奈川県民ホール等、各地でソロ演奏の他、合唱、オーケストラとの共演も行っている。現在、日本基督教団東京山手教会オルガニスト。日本オルガニスト協会会員。

● 村上 知佐子  
(ヴァイオリン)

東京都出身。桐朋学園・子供のための音楽教室にてヴァイオリンを始める。東京都立芸術高等学校、東京芸術大学卒業。これまでに、鈴木共子、水野佐知香、原谷百代、海野義雄、景山誠治の各氏に師事。現在、室内楽を中心に、ソロ、オーケストラ等の演奏活動を行っている。

コンサート終了後4:30PM ~  
中高学生食堂にて“卒業生の集い”を開催します。

1999.11.1発行

関東学院六葉会 〒236 8504 横浜市金沢区六浦町4834 1@045(781)2525

印刷・(株)エイコープリント